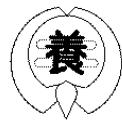


1月号

ハニ養だより



青森県立八戸第二養護学校
令和7年12月23日

防災意識の高まり

校長 小笠原 雅 和

12月8日（月）の夜に震度6強の地震がありました。子供たち、教職員にけが等はなく一安心しています。学校に大きな被害はありませんでしたが、夜の地震発生のため校舎の安全確認がとれなかったこと、市内の交通状況が不明でスクールバスの安全運行の保証がなかったことを受け、9日（火）は臨時休校とさせていただきました。保護者の皆様には急なお願いをすることとなりました。御理解と御協力ありがとうございました。

学校は10日（水）から再開しましたが、その後も何度か揺れがあり、12日（金）昼頃には震度4の地震がありました。素晴らしいと思ったのは子供たちの的確な行動です。教師の指示を聞くのはもちろんのこと、自分から机の下にもぐったり、ヘルメットをかぶつたりし、「自分の身は自分で守る」行動をとっていたことです。「備えあれば憂いなし」と言いますが、日頃の避難訓練などの成果が表れていると感じます。15日（月）現在、北海道・三陸沖後発地震注意情報が継続されています。これからも子供たちの安全安心を最優先に努めます。

【被害状況】



廊下側の窓ガラス破損（1枚） 体育館の暖房設備の蒸気漏れ

職員室の壁・天井のひび割れ

【御礼】

令和7年も終わりを迎えようとしています。今月は地震がありましたが、一年を通して子供たちが元気に学校生活を送ったことをうれしく思います。これまで学校への御理解と御協力ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。